



歌舞伎文化公園

かけはし

第193号
2024年9月発行

発行：峡南教育事務所
教育支援スタッフ（地域教育担当）

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144

HPではカラー版が御覧いただけます。
<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



南巨摩合同庁舎(合庁)

目次： 1
令和6年度峡南地域
教育推進連絡協議会
保坂 文彦 会長あいさつ
峡南地域 教育フォーラム
宮川 広 氏

ことぶき勸学院だより 2
西川悟平氏 公演会

「異校種連携・子育て学習」
ご案内

南部町立栄小 150周年
砂防教室 3
(下山小・大塚小)
連携型中高一貫教育事業
身延高校+身延中・南部中
防災セミナー/サマー
セミナー

砂金掘り大会・砂金甲子園 4
「千の風」朗読会
六郷スクールガード総会
神明の花火
片付けボランティア



市川三郷町立図書館

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、など「〇〇の秋」です。気候がよいときには体を動かし、秋の夜長には、図書館で本を借りて、部屋で読みながらゆったりとした時間を過ごしましょう。

令和六年度

峡南地域教育推進連絡協議会(地推協)

保坂 文彦 新会長 あいさつ

保坂
地推協会長



今年度、峡南地域教育推進連絡協議会の会長を務めさせていただきます。保坂文彦です。私は富河中学校に赴任してから三十八年間、峡南地区の学校を中心に、体育教諭として勤めてきました。教職員時代には、教育委員会や教育事務所にも勤務し、最後は増穂中学校の校長で退職をいたしました。退職後は、富士川町の社会教育委員会等として活動し、この度は教育委員として活動し、この度は地推協の会長として峡南地域全体の教育に関わることができ、このことをうれしく思います。

現在の社会は少子高齢化、グローバル化、社会の繋がりの希薄等、教育を取り巻く状況はかつてないほど急激に変化しています。峡南地域においても同様であり、特に児童生徒数の減少に伴い、小中学校の統廃合が行われ、ここ十年で十校が減っています。二十六年校になっていきます。「地域の子どもたちは地域で育てる」と言われますが、地域の現状は少子高齢化に伴い、人との関わりも希薄化している状況にあります。故に家庭・学校と連携し、社会全体で子どもを育むことが重要であると考えます。本協議会は関係団体や地域住民への情報発信、そして学習の機会などを提供すること、相互の連携を図っていく、峡南地域の子どもた

ち一人ひとりが幸せな人生を送ることが出来ますよう活動を推進していきます。
四名の副会長さんをはじめ役員の皆様や関係機関のご協力を頂きながら、峡南地域の教育推進のために微力ながら努めて参りたいと思っております。皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

峡南地域教育フォーラム 『山梨から世界を目指した』

元JAXA宇宙教育指導者
宇宙エンジニア
宮川 広 氏



八月二日に身延町総合文化会館のホールにおいて、甲州市出身・在住の宇宙エンジニア宮川 広先生の講演「峡南地域教育フォーラム『山梨から世界を目指した』」が行われました。子どもからお年寄りまで多くの方に参加していただき、宮川先生のこれまでの経験を宇宙の映像を含めながら話していた

いただきました。小さな田舎の少年が中学時代から世界で活躍する宇宙エンジニアになるという夢を持ち、コツコツと努力を重ね技術を磨いたことで、数々の国際プロジェクトに参加することができました。最後に参加したチリでのプロジェクトは宮川さんが六十歳を過ぎてからのことでした。実際にロケットや人工衛星の製造・修理や受信設備の制作・整備、トラブル対応等の仕事を行ってきたそうです。また宮川先生が作成した映像を文化会館のホールにある大型プロジェクトに投影し、満点の星空、宇宙から見た地球、オーロラ、雷などの神秘的な画像を大迫力で堪能しました。宮川先生がいつまでも活躍された背景には、「夢をいつまでも追いつけること」「迷ったときは人が嫌がる方向を選ぶ」という信念があったからだと思えます。とても素敵な熱い講演会でした。



ことぶき勸学院だより (日々の活動より)

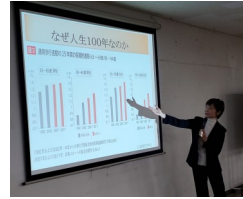
二年生 心身の健康管理
一年生 100年時代を生きる

◎二年生 六月二五日に市川三郷町生涯学習センター体育館で、山梨県スポーツ協会の小林様と在の皆様のご指導のもと健康寿命を延ばす「ロコモ」(移動す



るための能力が不足したり、衰えたりした状態を表した略語)について学び、自分が現在どのレベルにあるか簡単な運動を通して確認し、ロコモを進行させないための対策、トレーニングを行いました。勸学院生の皆さんは実年齢より若く、生き生きとしていることが確認できました。最後に、ペタンクという競技を行い、体も頭もリフレッシュしました。

◎一年生 六月二八日に人生一〇〇年時代ということば飯野奈津子先生より「フレイル」(介護が必要となる状態と健康の間)について学びました。フレイルの兆候を見つけて適切な対応をとることにより、自分らしい最後を迎えられる。そのためには、社会保障だけでなく、地域で支え合うことが大切であり、自分自身や地域に目を向けて、今できることを始めることが人生一〇〇年を生きるために必要なことである。身体的にも精神的にも健康であることが重要になるので、適切な運動、人とのつながり、地域活動などを通して、自分らしくいられることが大切である。そのためのも一つの手段として、ことぶき勸学院があります。これから多くさんの高齢者の方が入学してくることを願います。



日本文化を楽しむ

七月二三日に双葉ふれあい文化館において他の地域の勸学院生の皆さんと合同で能と狂言を鑑賞し学びました。能の佐久間二郎先生、狂言の大蔵教義先生から能と狂言の違い、共通点や面白さを講演を含めて、わかりやすく説明していただき、簡単な体験もしました。

伝統芸能の実演を見て話しかけ方や動きの意味を知り生徒の皆さんも感心しながら、笑顔で古



典芸能を楽しんでいました。午後から二年生は自主活動で株式会社キトーへ工場見学に行きました。



市川三郷町教育委員会主催 奇跡の7本指のピアニスト 西川悟平 トーク&ピアノ公演会

六月一八日に市川三郷町生涯学習センターの多目的ホールにおいて、町内四つの中学校の全生徒が集まり、西川悟平さんの話とピアノを堪能しました。自らの夢に向かって、困難があっても諦めずに、努力をして夢を叶えていくという、これから夢を見つけ、その夢に向かって取り組んでいく中学生への応援メッセージとして、遠藤町長発案、市川三郷町教育委員会主催で実施されました。



公演会ではピアノを始め、たきっかけ、夢を叶えるために努力したこと、不幸な事態からの復活、海外生活での逸話など西川さんのこれまでの体験したことや考えたことをユーモアいっぱい生徒たちに話してくれました。また話の間にピアノの演奏も披露していただき、動かない指があっても素晴らしい演奏が

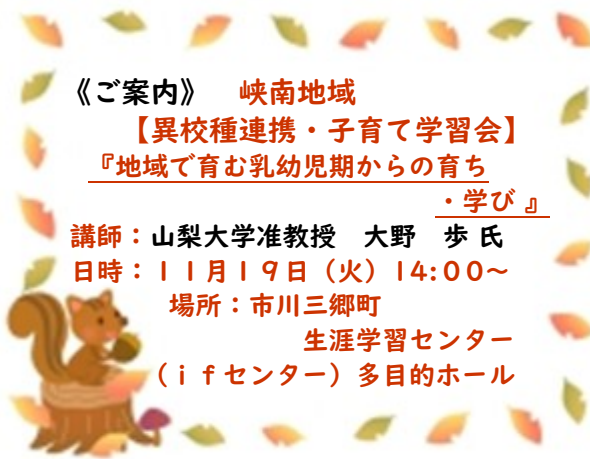


できることを教えてくれました。公演終了後も時間の許す限り生徒たちの質問に丁寧に答えていただき、生徒たちも満足した表情で会場を後にしていきました。



西川さんのエピソードは、令和六年度からの小学校三年生の道徳の教科書の中にも、未来に向かって「あきらめたらアカン」という題名で取り上げられております。「最悪の出来事もちよつとした考え方と行動の違いで、最高の出来事になることもある。」
「夢を心に持ち続けると誰にでも奇跡は起こると信じています。」

《ご案内》 峡南地域
【異校種連携・子育て学習会】
『地域で育む乳幼児期からの育ち・学び』
講師：山梨大学准教授 大野 歩氏
日時：11月19日(火) 14:00~
場所：市川三郷町 生涯学習センター (i fセンター) 多目的ホール



南部町立栄小学校創立一五〇周年
とこれからの百年



五月十一日(土)に、南部町立栄小学校において、在校児童保護者・卒業生・地域住民など一五〇名余りの人が参加して、創立一五〇周年記念式典が盛大に行われました。今から一五〇年前、一八七四年(明治七年)は、明治維新时期であり、民主化や近代化が急速に進みました。社会(日本史)の教科書や紙幣に載るような著名人が活躍し、多くの出来事があった時代です。その二年前には、学制が公布され、小学校から大学までの学校制度が整備されました。同地区の睦合小学校と並んで、日本の初期の小学校としてたくさんの子を育ててきました。当日は卒業生の思い出話や五十年前のタイムカプセルを開き、最後は参加者全員で風船を飛ばしました。

人口減による少子化が進む中、創立一五〇年を超える南部町の睦合小と栄小の二校は、二〇二六年度に統合されます。準備委員会も設置され、新しい校名も募集するそうです。これからの一〇〇年を見つめ、両校の特色や伝統を活かしながら地域の中心となるような小学校ができることを願います。

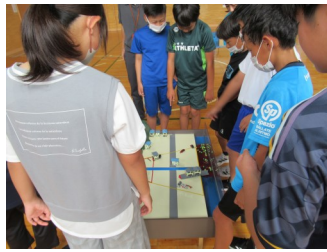


砂防教室 下山小(身延町)
大塚小(市川三郷町)

豪雨災害が多く発生し始める六月に国土交通省が実施する「土砂災害防止月間」にあわせて、毎年小学校高学年を対象に行っている砂防移動教室「みんなで防ごう土砂災害」が、今年度は大塚小学校、下山小学校で実施されました。近年、深刻な土砂災害が全国各地で起きている中、「明日の山梨県を担う小学生の皆さんに、土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうことにより、子どもを通じて家庭へ、ひいては地域住民の方々へ土砂災害防止意識の高揚を図る。」ことを目的として行われている事業です。



峡南建設事務所の職員が、学校を訪問して、模型を使用した土石流の実験やペットボトルを使用した雨量計の作成をしました。児童は、自分が住んでいる地区がどのような災害があるかを確認し、説明や実験を通して改めて土砂災害について学びました。



身延・南部地域 連携型中高一貫教育 連携事業
身延高校と身延中学校・南部中学校 防災セミナー/サマーセミナー

連携型中高一貫教育事業は、平成二九年に準備委員会が立ち上がり、令和元年より正式に山梨県初の連携型中高一貫教育校として身延高校、身延中学校、南部中学校で始まりました。九つある連携事業の一つである、「防災セミナー」が七月三十一日(水)に身延高校文化創造館で行われました。この事業は、災害発生時に地域のために活動し、所属校のリーダーとなって防災活動を推進していく生徒を育てることと異校種間での交流を通して同じ地域一員としての自覚を培うことを目的に行われています。身延町役場交通防災課の坂本さんに身延町で起こりうる災害(大雨による土石流や河川の氾濫、巨大地震、富士山の噴火による影響)について、メカニズムから対応策まで、基本的なことを中心に講義していただきました。また災害発生時に避難所における簡易トイレや段ボールベットについて学び、実際に作成しました。生徒たちは、災害や防災について確認し、いつか起こりうるであろう災害に対して、みんなで協力し、備えることが大切であると改めて感じたようでした。



さらに八月五日(七日)に身延高校で「サマーセミナー」が行われました。この事業は、夏休みを利用して身延高校の先生方が、地域の学力向上を目的に、身延中学校・南部中学校の三年生希望者に対して、国数英主要三教科の講座を行うというものです。中学校の先生方に講座の内容を確認していただき、高校の先生が教えます。中学生もいつもの授業とは違い、先生や周りの友達も異なるので、良い緊張感の中で一生懸命に学んでいました。参加者からは、入試対策や復習ができて良かったという感想が多数あり、とても良い機会になったようです。この他にも連携事業では一年間を通して高校の先生が中学校を訪問する授業アシストも行われています。このような取り組みにより、中学生が高校を身近に感じ、高校生活に対するイメージがしやすくなり、高校入学後の生活がスムーズになると思います。連携型中高一貫教育校として、六年目を迎え、これまでの事業を見直しながらより良い形で中高の連携が進むことを期待します。



砂金掘り大会／砂金甲子園 (湯之奥金山博物館)

七月二十七日(土)に第二十四回砂金掘り大会(中学生までのジュニア部門／高校生以上の男女一般部門)と二十八日(日)に第二十一回砂金甲子園(東西中高交流大会)が身延町の湯之奥金山博物館で盛大に開催されました。初日の砂金掘り大会では、小学生からシニアまで幅広い世代の参加者が砂金掘りの技術を競いました(結果は博物館ホームページ参照)。砂金甲子園では、子園では、



戦いでした。優勝は、兵庫県の灘中学灘高等学校地学研究部で、初回から毎年参加しているということでした。その他にも開成学園や麻布学園、大妻など東西の有名中高が参加していました。山梨県からも山梨学院中学・高等学校が参加していますが、峡南地域の学校が参加していないことが少し残念でした。平成二五年の第十回大会では、地元の峡南高等学校が優勝をしています。次の大会では峡南地域の中高生からエントリーがあることを期待します。湯之奥金山は、戦国から江戸初期にかけて金の採掘が行われ、貨幣の先駆けとして流通した甲州金の地金を産出しました。峡南地域の重要な文化・観光資源として、富士北麓から本栖湖、そして峡南地域へと、そんなにぎわいの流れができればすばらしいと思います。



朗読ボランティア「千の風」～命の重さ～を考える



七月三日(水)の放課後、市川三郷町六郷地区における六郷小・中学校スクールガード総会が開催されました。秋沢警察署スクールサポーターの飯沼様と町教育委員会スクールガードリーダーの一瀬様からお話を頂き、六郷小・中学校スクールガードの活動確認と危険箇所等の情報交換を行いました。飯沼様から小中高生に対する声掛け事業の件数や現状について説明があり、学校・地元住民・自主防犯ボランティア団体の協力が必要不可欠であること、「いかのおすし」という見知らぬ人から声を掛けられた時の心構えを聞きまし。また一瀬様から過去の事例を確認して、これからは防犯教室などに多くの保護者にも参加していただき、地域と協力していただくことが子どもの安全を守るために重要であることを確認しました。今回の会も参加者が限られていたのも、もう少し多くの方(保護者を含む)に参加していただき、情報交換の場として活用できると良いと感じました。

市川三郷町 六郷地区 スクールガード総会

花火片付けボランティア (市川三郷町)

神明の花火大会が終わった次の日の早朝、西八代協同社クリスタルホール駐車場横に町内外から三百五十名以上の人が集まり、花火会場周辺や笛吹川河川敷から市川大門駅までの道等を各エリアに分かれてゴミ拾いを行いました。地元の大きなイベントを行政が中心となり、多くの町民がボランティアとして



七月二八日(日)身延町総合文化会館において、戦争の中で不条理な犠牲をしいられている子ども達や、過酷な境遇に置かれている世界中の子ども達、朗読の部では、太平洋戦争中の空襲や高交流大会)が身延町の湯之奥金山博物館で盛大に開催されました。初日の砂金掘り大会では、小学生からシニアまで幅広い世代の参加者が砂金掘りの技術を競いました(結果は博物館ホームページ参照)。砂金甲子園では、子園では、



活躍する素晴らしい活動だと思えます。中でもたくさんの市川中の生徒が、当たり前のように参加してくれたことに、これから市川三郷町が発展していくことが期待できます。またロータリークラブの関わりで青洲高校の生徒や地元企業、各協議会など皆さん大きな袋いっぱいゴミを集めてくれました。朝早くから本当にお疲れ様でした。